

地質ニュース

昭和 61 年 11 月

第 387 号

1986

ヒマラヤの海とその消滅—その 2	中 島 輝 允	6
鉱物資源を考える(4)	立 見 辰 雄	16
北アナトリア地震紀行(続)	加 藤 碩	38
「番場標本」を紹介する	山 口 昇 一 矢 島 淳 吉	54
海外室だより	海 外 室	62
名古屋南部 NAGOYA-NANBU	坂 本 亨 高 田 康 秀 桑 原 徹 二 糸 魚 川 淳 二	64

口 絵 「番場標本」..... 番 場 猛 夫

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

トルコ産魚眼状クロム鉱石

クロム鉱床には大陸の層状貫入岩体の一部に埋蔵される層状型と アルプス造山帯の蛇紋岩に伴われるポディフォーム型(鉱巢型)とがある。 後者には稀にこのような魚眼状(orbicular) 鉱石が出現する。 これまでにトルコのフェティエ鉱山 ウラル山地産のものが報告されているが 最近日本でも新潟県青海地方から転石が発見されている。 ここに掲げたトルコ産のものはダナイトの中に厚さ 2~3 mm の球殻状のクロム鉄鉱集合体(黒い部分)が生成されている。 成因には諸説があるが 解説者は 超苦鉄質マグマ溜りの中にできた不混和の 2 液(クロム鉄鉱組成とオリビン組成)が移動の際に波状運動をうけ固化したものであろうと推定している。 標本の大きさは 魚眼の長径が約 1.5 cm から最大 3 cm である。

(解説: 番場猛夫 撮影: 矢島淳吉)

12月号予定目次

小貝川堤防またも決壊

深沢川(栃木県茂木町)における昭和61年 8 月土砂災害

昭和61年台風10号による大雨と那珂川下流域の氾濫

20周年を迎えた集団研修コース